maxell

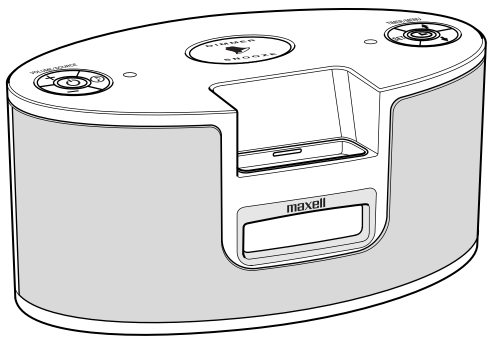
Made for iPod

アクティブスピーカー

MXSP-2100 BK/WH

取扱説明書 保証書付

Ver. 1.2



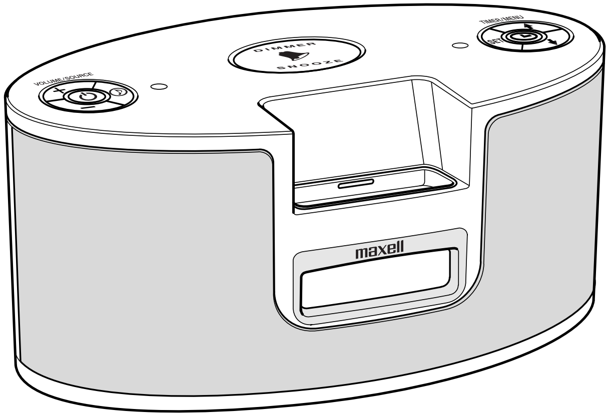
このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、この説明書（保証書を含みます）は大切に保管してください。
別紙で追加情報が同梱されているときは必ず参照してください。

S07M0804Z13

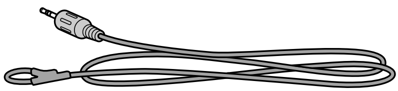
目 次

1. 梱包品の確認

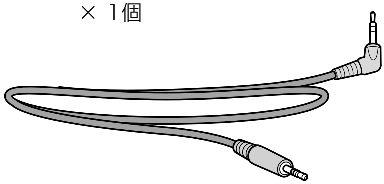
取扱説明書（保証書付き）
× 1部



本体 × 1台



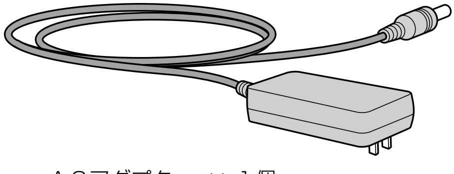
FMラジオアンテナケーブル
（約150cm）
× 1個



φ3.5mmステレオミニプラグ
ケーブル （約80cm） × 1本



赤外線リモコン
（CR2025×1個付属）
× 1個



ＡＣアダプター × 1個

2. はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。
- 免責事項（保証内容については保証書をご参照ください。）
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

3. 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

表示の説明

⚠ 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示します。
⚠ 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性または物的損害*3が発生する可能性があること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

＊3：物的損害とは、家屋・家財及び家畜・愛玩動物にかかわる拡大損害を指します。

絵表示の例	△	△記号は製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	⃠	⃠記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	●	●記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

⚠ 警告

- **ACアダプタは付属以外のものを使用しないでください。**（禁止）
  火災・感電の原因となります。
- **ACアダプタをタコ足配線しないでください。**（禁止）
  発熱により、火災の原因となります。
- **ACアダプタを傷つけたり、重いものを乗せたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、加工したりしないでください。**（禁止）
  ACアダプタが破損し、火災・感電の原因となります。
- **ACアダプタが破損したときは使用しないでください。**（禁止）
  破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。ACアダプタは販売店に交換をご依頼ください。
- **修理や改造、または分解しないでください。**（禁止）
  火災、感電、またはけがをする恐れがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料となります。

3. 安全上のご注意

⚠ 警告

- **乳幼児の手の届く所へ置かないでください。**
  電池の誤飲による窒息や胃などへの障害、またコードが体に絡まることでの窒息などの原因になる恐れがあります。万一事故が発生した場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
  禁止
- **雨や雪にあたる所、水辺、風呂場など、湿気の多いところでは使用しないでください。**
  火災・感電の原因になる恐れがあります。
  禁止
- **雷が鳴り出したら使用しないでください。**
  感電の原因になる恐れがあります。
  禁止
- **近くに花瓶、植木鉢、コップ、薬品、化粧品、水などの入った容器を置かないでください。**
  こぼれたり、中に入ると火災・感電の原因となります。
  禁止
- **開口部から金属類や燃えやすい物を入れないでください。**
  火災・感電・けがの原因となります。
  禁止

⚠ 注意

- **不安定な場所に置かないでください。**
  落下によるけがや故障の原因となることがあります。
  禁止
- **油煙や、湯気が当たるようなところには置かないでください。**
  火災・事故の原因となることがあります。
  禁止
- **冷気が直接吹き付けるところや、極端に寒い場所には置かないでください。**
  露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
  禁止
- **大音量で長時間つづけて聞かないでください。**
  耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。
  禁止
- **音量に注意してください。**
  耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。スピーカーで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さい音でも周囲によく通るものです。窓を閉めるなどお互いに気を配り快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットシンボルマークです。
  音のエチケット
- **はじめから音量を上げすぎないでください。**
  突然大きな音が出て耳をいためることがあります。操作する前には、音量を絞っておいてください。
  禁止

⚠ 注意	
● 異常に温度が高くなるところへ置かないでください。 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。電池が漏液する原因にもなります。	禁止
● 砂浜や砂地など砂の入りやすいところ、ホコリの多いところでは使用しないでください。 焼損・発火や事故の原因となることがあります。	禁止
● 布や布団でおおったり、包んだりしないでください。 熱がこもり本体が変形し、火災の原因となることがあります。	禁止
● 近くにブラウン管を置かないでください。 色むらが起きる場合があります。	注意
● 外部機器の接続には取扱説明書をよくお読みください。 本機および、書く機器の取扱説明書をよく読み、電源を切った上で接続してください。	注意
● ACアダプタは強く引っぱらないでください。 故障や断線の原因となります。	禁止
● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。	ぬれ手禁止
● 電源プラグは根元まで確実に押し込んでください。 差込みが不十分のまま使用すると、感電やホコリの堆積による火災の原因となる恐れがあります。	確実に差し込む
● ACアダプタを熱器具に近づけないでください。 コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。	禁止
● お手入れや長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。 感電やけがの原因となります。	電源プラグを抜く

電池についての安全上のご注意

リチウムコイン電池はリチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂、発火したり、怪我や機器故障の原因となるので次の事を必ず守ってください。

⚠ 警 告

●電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。	禁止

3. 安全上のご注意

⚠ 警 告

禁止

- この電池は絶対に充電しないでください。充電すると電池内の電解液が加熱され、ガスの発生で内部圧力が上昇したりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- 電池を火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。絶縁物などを損傷させ、電池を漏液、発熱、発火させる恐れがあります。
- 電池の＋と－を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
- 電池の液が目に入ったときは、目に障害を与える恐れがありますので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。
- 電池の＋と－を針金などで接続したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れたりして電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
- この電池に漏液や異臭があるときは、漏れた電解液に引火する恐れがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。
- 電池に直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- 電池を保管する場合および破棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。電池を他の電池や金属製のものと混ぜたりすると、電池がショートして漏液、発熱、破裂、発火する恐れがあります。
- 電池はテープなどで皮膚に固着しないでください。皮膚に障害を起こす恐れがあります。

4. 特長

- 小型ながらクリアで広がりのある迫力サウンドを実現

  アルミコーンユニットを楕円形ボックスに搭載することでボックス内での反射音を抑制しクリアなサウンドを実現すると共に、ユニットを広角に設置することで広がりのある音を実現。更にバスレフ方式を採用することで小型ながら迫力のある音を実現しました。
- iPod*の操作が可能なマルチリモコン付属

  赤外線リモコン標準装備で離れた場所からスピーカー、ラジオ、iPodのメニュー操作が行えます。（＊iPod操作は対応機種のみ。対応表参照）
- Universal Dockアダプタ対応

  Universal Dockアダプタを使用することが可能です。コネクタ部への負荷を軽減することができます。
- 時計・デュアルアラーム機能

  標準搭載のアラーム音と、iPodやFMラジオをアラーム音として使えるデュアルアラーム機能搭載。
- FMラジオ搭載

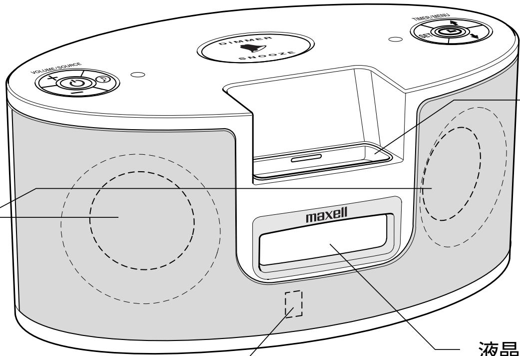
  FMラジオチューナーを標準搭載。最大20局までのプリセット登録が可能。

＊ 対応iPodは　iPod 第4世代、第5世代、iPod classic、iPod touch、iPod mini、iPod nano 第1世代、第2世代、第3世代。(08年1月現在)

iPod shuffleはドックコネクタではなく、φ3.5mmステレオミニケーブルによるLine in接続となります。

5. 各部の名称と説明

＜本体正面＞



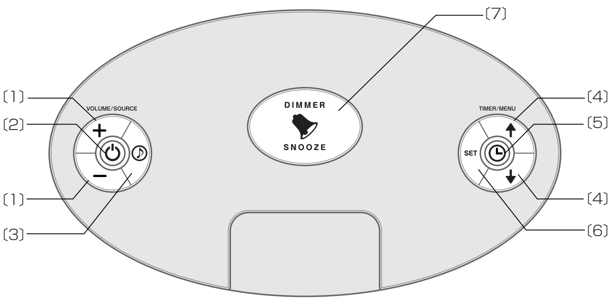
スピーカー
音が出ます。

iPodドック
Universal Dockアダプタ(iPod付属品)およびiPodを接続します。

リモコン受光部
リモコンの信号を受信します。

液晶画面
時計やアラーム、スピーカーのモード等を表示します。

＜天面＞



〔1〕VOLUMEボタン
音量を調整します。

〔2〕POWERボタン
本体の電源をON/OFFします。

〔3〕SOURCEボタン
iPodモード、FMラジオモード、MP3モードに切り替えます。

〔4〕↑↓ ボタン
iPodの各種項目および、時刻調整で使用します。

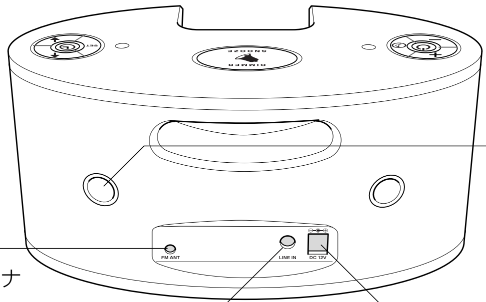
〔5〕CLOCK/TIMERボタン
時刻設定モード、アラーム設定モード、スリープタイマー設定モードに切り替わります。

〔6〕**SET**ボタン
各項目を決定します。

〔7〕SNOOSE/DIMMERボタン
アラーム時SNOOSEモードになります。
それ以外では液晶等の照度調整を行います。

※iPodで音楽再生中に、本体天面TIMER/MENU部の↑↓ ボタンを押さないでください。
iPod本体の音量設定が変わることがあります。

＜背面＞



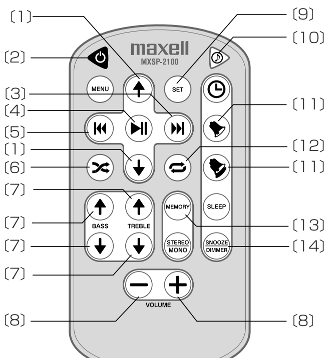
バスレフポート
バスレフの穴です。

FMラジオ
アンテナジャック
付属のFMラジオアンテナケーブルを接続します。

ACアダプタ端子
ACアダプタプラグを接続します。

LINE IN端子
MP3プレーヤーなどの出力をφ3.5mmステレオミニプラグで接続します。

＜リモコン＞



〔1〕スクロールボタン
iPodの各種項目および、時刻調整で使用します。

〔2〕POWERボタン
本体の電源をON/OFFします。

〔3〕FWDボタン
iPodの曲を一つ前に進みます。
長押しでサーチします。

〔4〕PLAY/PAUSEボタン
iPodの曲を再生/一時停止します。

〔5〕REWボタン
iPodの曲を一つ後ろに戻します。
長押しでサーチします。

〔6〕SHUFFLEボタン
iPodの再生モードをシャッフル再生に切り替えます。

〔7〕BASS　TREBLEボタン
スピーカーの低音、高音の調整ができます。

〔8〕Volume UP／DOWNボタン
スピーカーの音量を下げます。

〔9〕SETボタン
各項目を決定します。

〔10〕SOURCEボタン
iPodモード、FMラジオモード、
MP3モードに切り替えます。

〔11〕アラームボタン
アラーム1、アラーム2のON/OFFを切り替えられます。

〔12〕REPEATボタン
iPodの再生モードをリピート再生に切り替えます。

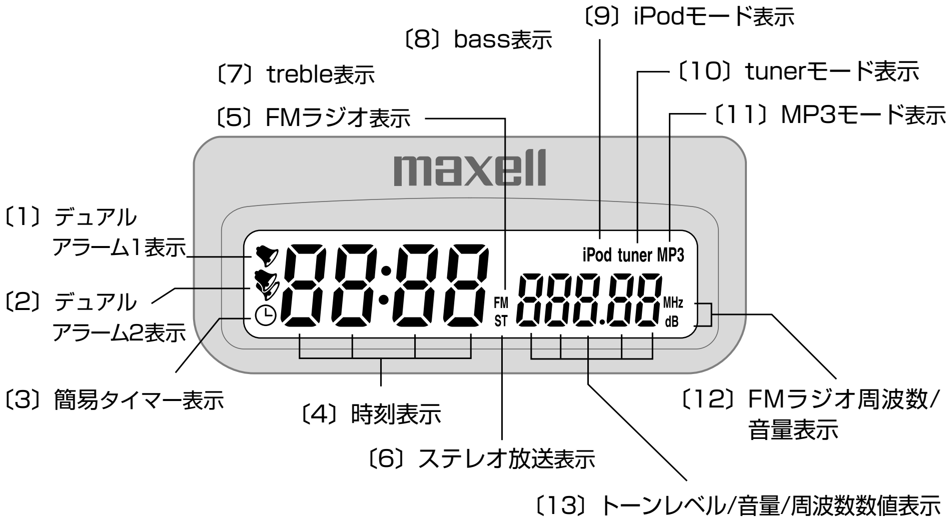
〔13〕MEMORYボタン
FMラジオのプリセット登録が行えます。

〔14〕SNOOZE/DIMMERボタン
アラーム時SNOOZEモードになります。それ以外では液晶等の照度調整を行います。

> [注意]
> リモコンの動作は次の範囲内で行ってください。
> 正面方向：6m　/　上下左右　30度：5m

5. 各部の名称と説明

＜液晶表示＞



〔1〕デュアルアラーム1表示
デュアルアラーム1のON/OFFを表示します。

〔2〕デュアルアラーム2表示
デュアルアラーム2のON/OFFを表示します。

〔3〕簡易タイマー表示
簡易タイマーのON/OFFを表示します。

〔4〕時刻表示
時刻を表示します。

〔5〕FMラジオ表示
FMラジオを受信すると点灯します。

〔6〕ステレオ放送表示
FMラジオでステレオ放送を受信すると点灯します。

〔7〕treble表示
treble調整中に点灯します。

〔8〕bass表示
bass調整中に点灯します。

〔9〕iPodモード表示
iPodモード時に点灯します。

〔10〕tunerモード

〔11〕MP3モード表示
MP3モード時に点灯します。

〔12〕FMラジオ周波数/音量表示
FMラジオ周波数、音量の調整時に点灯します。

〔13〕トーンレベル/音量/周波数数値表示
treble・bassのトーンレベル、FMラジオ周波数、音量の数値を表示します。

6. スピーカーの準備をする

1. ACアダプタをつなぎます。
2. FMアンテナケーブルを接続します。
3. 付属のリモコンの絶縁シートを抜き取ります
4. 時計の時刻を設定します。

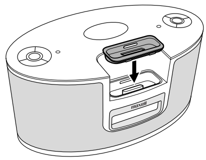
本体またはリモコンの ボタンを押します。

時が点滅しますので本体またはリモコンの↑↓ボタンを押して調節後、本体またはリモコンのSETボタンを押して決定します。

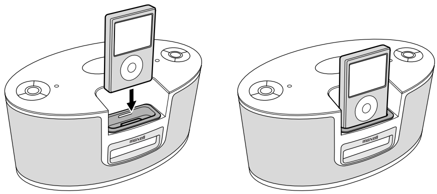
次に分が点滅しますので、本体またはリモコンの↑↓ボタンを押して調節後、本体またはリモコンのSETボタンを押して決定します。

7. iPodで音楽を楽しむ

1. お手持ちのiPodに合ったUniversal Dockアダプタを取り付けます。



2. ドックコネクタとiPodを接続します。



3. 本体またはリモコンの⏻ POWERボタンを押して電源をONにします。

4. 本体またはリモコンの♪ ボタンを押しiPodモードにします。

5. 自動的にiPodの音楽が再生されます。

6. 再生を停止するときは本体またはリモコンの▶II PLAY/PAUSEボタンを押します。

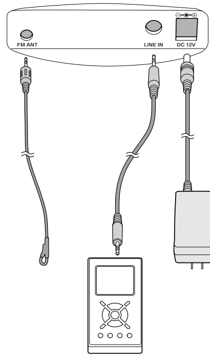
7. 終了するときは、本体またはリモコンの⏻ POWERボタンを押して電源をOFFにします。

8. iPodを抜き取ります。

※Universal Dockアダプタを取り外す場合は、アダプタを手前に押して取り出してください。

8. iPod以外の機器で音楽を楽しむ

1. 背面にあるφ3.5mmステレオミニプラグジャックと、MP3プレーヤーなど再生したいプレーヤーのLine Out端子またはイヤホン端子を付属のφ3.5mmステレオミニプラグケーブルで接続します。



2. 本体またはリモコンの ボタンを押して電源をONにします。

3. 本体またはリモコンの ボタンを押しMP3モードにします。

4. プレーヤーの音楽を再生します。音量調節は本体またはリモコン、再生するプレーヤーのVolumeボタンで行います。

5. 再生を停止するときは、プレーヤーの音楽を停止します。

6. 終了するときは、本体またはリモコンの ボタンを押して電源をOFFにします。

7. 本体とプレーヤーを接続しているφ3.5mmステレオミニケーブルを取り外してください。

[注意]

・プレーヤー本体のボリュームを変えた後にヘッドホン等で使用する際には、プレーヤーのボリュームに注意してください。

9. FMラジオを楽しむ

9-1. FMラジオを聞く

1. 本体にFMラジオアンテナケーブルが接続されていることを確認してください。

2. 本体またはリモコンの⏻ボタンを押して電源をONにします。

3. 本体またはリモコンの♪ボタンを押しtunerモードにします。

4. 本体またはリモコンの↑↓ボタンを押し、お聴きになりたい放送局の周波数に調整してください。

5. 終了するときは本体またはリモコンの⏻ボタンを押して電源をOFFにします。

9-2. プリセット登録設定

1. 登録したい周波数に本体またはリモコンの↑↓ボタンを押して調整します。

2. リモコンの**MEMORY**ボタンを押すと（CH01）が点滅しますので⏮ ⏭ボタンを押し、登録したいチャンネルに合わせてリモコンの**MEMORY**ボタンを押して登録してください。

3. 登録したチャンネルを呼び出すにはFMラジオの通常画面で⏮ ⏭を押してください。

10. タイマーを使用する

10-1. デュアルアラームの設定

決められた時刻にアラームを作動させたいとき、このアラーム機能を使用します。

1. 本体またはリモコンの ボタンを2回押すとデュアルアラーム1、3回押すとデュアルアラーム2の設定画面になります。

2. 時が点滅しますので　本体またはリモコンの↑↓ボタンを押して調節後、本体またはリモコンのSETボタンを押して決定します。

3. 分が点滅しますので、本体またはリモコンの↑↓ボタンを押して調節後、本体またはリモコンのSETボタンを押して決定します。

4. 本体またはリモコンの↑↓ボタンを押して、ONを選択し、本体またはリモコンのSETボタンを押して決定します。

5. 本体またはリモコンの↑↓ ボタンを押すと、画面のiPod、tunerの表示が点滅しますのでお好みの音源を選択し、本体またはリモコンのSETボタンを押して決定します。（※1−2）

6. 本体またはリモコンの↑↓ ボタンを押して、ボリューム（0〜30）を選択し、本体またはリモコンのSETボタンを押して決定します。（※3）

7. 最大2つまでアラームの登録が可能です。

【注意】

電源OFF時を含め、常時、リモコンの ボタン ボタンを押すことで、デュアルアラームのON/OFFを切り替えることができます。

※1 アラーム音選択時に何も点滅しない時は、本体のビープ音が音源になります。

※2 アラーム設定時間にiPodまたはFMを再生している場合、アラーム音は設定にかかわらず本体のビープ音となります。

※3 アラームの音量設定は、Serial No.0828＊＊＊＊＊からの対応となり、それ以前の製品では対応しておりません。

8. 設定時刻になるとタイマーが作動します。

10-2. 簡易タイマーの設定

スリープタイマーを作動させたいときに、この簡易タイマー機能を使用します。

1. 本体またはリモコンの ボタンを4回押すと簡易タイマーの設定画面になります。

2. 本体またはリモコンの↑↓ボタンを押して、0〜90分まで10分刻みで調整できます。決定するときは本体またはリモコンのSETボタンを押す。

3. 本体またはリモコンの↑↓ボタンを押して、ONを選択し、本体またはリモコンのSETボタンを押します。

4. 設定時間になるとタイマーが作動し、電源OFFとなります。

10. タイマーを使用する

10-3. スヌーズ機能について

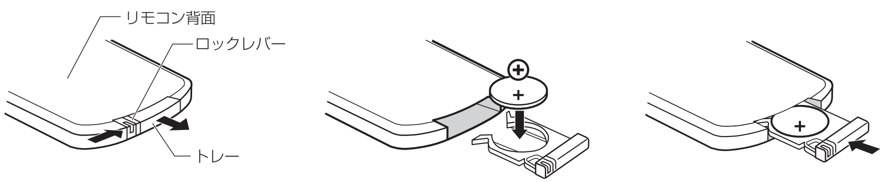
1. 10－1で設定したアラームが作動した際、本体の SNOOZE DIMMER SNOOZE/DIMMERボタンを押すと一時停止します。
2. 画面の が点滅し、約10分後に再生が再開されます。
3. スヌーズ機能を解除したいときは、 ボタンか ボタンを押してください。

[注意]

か ボタンを押さない限り、スヌーズ機能は作動し続けます。

11. リモコンのボタン電池の交換

1. リモコン背面にあるロックレバーを右に押したままトレーを引きだします。
2. 新しい電池（CR2025　3V　1個）に交換した後、トレーをリモコンに戻します。



[注意]

・付属の電池はモニター用です。

・ロックレバーを押す際にはツメや指を怪我しないように気をつけてください。

・リモコンには指定以外の電池は使用しないでください。

・トレーに対し上面に＋極になるように電池を置いてください。

・電池交換の際は電池の向きを間違わないように注意してください。

12. 故障かな？と思ったときは

症 状	対 策
電源が入らない	・ACアダプタが確実にコンセントと接続されているか確認してください。 ・ACアダプタプラグがスピーカー本体のACジャックに確実に接続されているか確認してください。 ・本体またはリモコンの ⏻ ボタンをしっかり押してください。
音が出ない （iPodの場合）	・ 本体の電源がONになっているか確認してください。 ・ 本体のプレイモードを確認してください。 ・ 本体の音量を確認してください。 ・ 接続したいiPodの世代を確認してください。 ・ ドックコネクタとiPodがしっかり接続されているか確認してくだい。
音が出ない （iPod以外のプレーヤーの場合）	・ 本体の電源がONになっているか確認してください。 ・ 本体のプレイモードを確認してください。 ・ 本体および接続しているプレーヤーの音量を確認してください。 ・ 本体背面のLINE IN端子と再生したいオーディオプレーヤーを繋ぐケーブルの接続を確認してください。
Universal Dockアダプタがうまくはまらない。 うまく外せない。	・ iPodドック部に障害物がないか確認してください。 ・ Dockアダプタの向きを確認してください。表面に溝があるほうが奥になります。 ・ Dockアダプタは手前に傾けながら挿入して、「カチ」っと鳴るまで押してください。 ・ Dockアダプタを取り外す場合は、アダプタを手前に押して取り出してください。
iPodが充電されない	・ ACアダプタが確実にコンセントと接続されているか確認してください。 ・ ACアダプタプラグがスピーカー本体のACジャックに確実に接続されているか確認してください。 ・ 本体の主電源スイッチがONになっているか確認してください。 ・ 本体のiPodドック部に障害物がないか確認してください。

12. 故障かな？と思ったときは

症 状	対 策
iPodが充電されない	・Universal Dockがお手持ちのiPodに対応しているものか確認してください。 ・お手持ちのiPodの世代を確認してください。* ・お手持ちのiPodのソフトウェアバージョンが最新のものか確認してください。 *対応iPodは　iPod 第4世代、第5世代、iPod classic、iPod touch、iPod mini、iPod nano 第1世代、第2世代、第3世代。（08年1月現在）
リモコンが効かない	・リモコンと本体との距離と角度を確認してください。（動作範囲：正面　6m/上下左右　30度 5m） ・リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がないか確認してください。 ・リモコンの電池トレーがしっかり挿入されているか確認してください。 ・リモコンの電池が新しいものか確認してください。
ＦＭラジオが聞けない	・本体のプレイモードを確認してください。 ・本体の音量を確認してください。 ・本体に付属のＦＭラジオアンテナケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。また、FMラジオアンテナケーブルの向きや本体を設置している場所も確認してください。 ・受信したいＦＭ放送局の周波数を確認してください。 ・近くに電波干渉するような機器、建物等がないか確認してください。
アラームが効かない	・アラームの時刻を確認してください。 ・液晶のアラーム表示がONになっているか確認してください。
アラームが止まらない	・本体およびリモコンの SNOOZE DIMMER ボタンではなく、🕒か ⏻ ボタンを押してください。 ・液晶のアラーム表示がOFFになっているか確認してください。

13. 仕様

製品仕様

品名	アクティブスピーカー　MXSP-2100
形式	アクティブスピーカー
スピーカーユニット	フルレンジジアルミコーンユニット　φ約50mm×2　防磁型
実用最大出力	5W+5W
再生周波数特性	70-20,000Hz
FMラジオ受信周波数	76.0-108.0.MHz
入力端子	iPodドックコネクタ、φ3.5mmステレオミニジャック（LINE IN）
ACアダプタ	入力　AC100～240V、50-60Hz
	出力　DC12V/2A
外形寸法	250（W）×116（H）×140（D）/mm
質量	約1.2kg（本体のみ）
付属品	リモコン（CR2025　1個付属） ACアダプタ φ3.5mmステレオミニプラグケーブル（約80cm） FMラジオアンテナケーブル（約150cm） 取扱説明書（保証書付）

●記載の内容は2008年3月現在のものです。
●製品仕様および外観は、予告なく変更される場合があります。
●掲載のイラストは、実物と異なる場合があります。
●iPodは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.社の商標です。
●その他、記載されている名称、商標、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標または商標です。

14. 保証とアフターサービス

■ 保証書（裏表紙）に関して

保証書は必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。また、保証書はよくお読みの上で、大切に保管してください。

保障期間は、お買い上げ日から1年間です。

■ 本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

日立マクセル株式会社　お客様ご相談センター
〒102-8521　東京都千代田区飯田橋2－18－2
TEL (03) **5213-3525**　FAX (03) **3515-8261**
受付：月曜日～金曜日まで（ただし祝祭日および当社休業日を除く）
9：30～12：00／13：00～17：00
（尚、誠に勝手ではございますが、2009年1月26日（月）より受付終了時間を17:00に変更させていただきました。）
ホームページ　http://www.maxell.co.jp/